

校報 潑 刺 ~はっらっ~

聡明な人間 豊かな人間 たくましい人間

【願う学校像】高い志と興文愛をもち、何事にもひたむきに取り組む興文中

◇夢や目標をもつ

◇達成の方法を工夫する

◇仲間と共に高まる

◇あきらめず何度も挑戦する

大垣市立興文中学校

校長 清水 昭治

生徒数 358名

大垣市西崎町1-82

〒78-3068

平成30年11月30日発行

<http://www.ogaki-city.ed.jp/kouchu/index.html>

■「平成最後」にふさわしい興文祭から得たものを

集団の成長、個人の成長につなげ、2学期を仕上げる

校長 清水 昭治

11月8日(木)に開催した興文祭は、生徒会執行部や文化委員会、そして全校生徒の日々の努力が結実し、「平成最後」にふさわしい質の高いものになりました。中学校に入学してわずか7ヶ月あまりとは思えない素直で伸びやかな1年生の合唱、力強さと美しさが増した2年生の合唱、そして、絹の歌声を見事に継承した3年生の合唱。さらに特筆すべきは、どの学年も審査員の先生方が最優秀クラスを決めるのに大変苦労したほど、すべてのクラスの合唱の質が高かったということです。必ずしも合唱が得意な子ばかりではない中で、より質の高い合唱を仲間と関わり合い、時には衝突をしながら追い求めてきた日々の地道な努力の積み上げが、どのクラスにもあったこと、そしてそこには一人一人の学びや育ちの質や仲間との絆の質の高まりがあったことを感じました。また当日体育館に掲げられた看板は、3年生の3名の生徒が手作りしてくれ、環境面でも生徒が主人公の興文祭になったことを感じました。

そんな興文祭だからこそ、その成果や課題を集団や個人の成長につなげていかなければなりません。文化委員や学級委員、指揮者、伴奏者、パートリーダーはもとより、誰のどんな頑張りや願い(想い)がそこにあったのか、誰のどんな成長(変容)があったのか、仲間の願い(想い)に応える誰の姿や想いがあったのかという事実に向き、一人一人の成長と集団の成長、2学期の仕上げに向かっていってほしいと思います。

最後になりましたが、当日は多くの保護者や地域の方々にご来校いただき応援や励ましをいただきありがとうございました。とりわけ指揮、伴奏をした生徒の保護者をはじめとして、生徒の取組を支えていただいた保護者の皆様ありがとうございました。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

◇今月の生徒の「思い」

1年 吉川 優 さん 『心を1つにして 1-Cだけの道』

「やり切った…」全校トップバッターとしての役目を担って取り組んだ興文祭を終えたとき、私は心からそう思いました。それは、もちろん最優秀賞を取れたからでもあるけど、何よりも“全員”が精一杯に取り組んでいたからです。みんなの顔を見なくても、その気持ちは背中から十分に伝わってきました。

私が所属しているアルトパートは、合唱練習を始めた頃は全く声が出ず、音程が分かっている他のパートの声に押されてばかり。なかなか自分たちの声を前に飛ばすことができませんでした。でも、そこで仲間呼び掛け、率先して声を出してくれたのは文化班長でした。「がんばれ」と声を掛け続ける文化班長の姿から、私はみんなが安心して声を出せるように自分から声を出そうと思えることができました。アルトパートはソプラノパートよりも人数が少ないけれど、「まあ、人数が少ないから仕方ないよね」と言われるのだけは嫌でした。たとえ人数が少なくても、がんばれば伝わるのではないかと、一生懸命に歌っていれば認めてくれる人がいるのではないかと。1年C組は1年C組なりに、1年C組らしく表現すればいい。他のクラスにないような団結力があるから、自分たちなりにがんばればいい。私はそう思っていました。そして、迎えた興文祭本番、緊張の中で歌った合唱は、一人一人が限界を越えるぐらいに声を出して、初めて合唱で気持ちよさを味わうことができました。体育大会・大縄のときのように仲間が1つになった気がしました。1年C組の団結力は、これからの生活に生かしていけると、興文祭を通して改めて確認できたと思っています。

2年 増野 来海 さん 『私の成長は、仲間にある』

私は、文化委員という立場で興文祭当日を迎えました。練習の成果を出し切り、最優秀賞をいただくことができました。学級の名前が呼ばれた時、嬉しいという気持ちが一番に、そしてありがとうという気持ちが次に出てきました。

今思えば、私は軽く考えていました。文化委員になった当初は、最優秀賞を取るために、合唱のアドバイスさえしておけばいいと思っていました。しかし、思うようにいかない練習を重ねるうちに、半ば諦めかけていた時がありました。その時、ある仲間が「合唱やろうよ。」と言っているのを見て、気付かされました。文化委員としてもっとクラスに貢献しなければいけないと。それからは、合唱部の発声練習を取り入れたり、合唱交流をした相手の先生からアドバイスをいただいたりしました。そしてもっと仲間に関わるようにしました。すると、次第に合唱がよくなっていくのが実感できました。

最優秀賞を取ったことはもちろん嬉しいですが、それと同時に仲間のおかげで自分の甘さに気付けたことも学びの一つです。そんな仲間感謝したいし、これからも合唱の質が落ちないように仲間に関わり続けたいと思います。



3年 竹中 沙和 さん 『全員で最高の合唱を創る』

私は、後期文化委員になったとき、「絶対にこのクラスの全員で最高の合唱を創る」と決意しました。自由曲が決まり、音取りは順調に進みました。しかし、全員合唱ではなく、私たちが目指したい合唱とはいええない状況が続きました。正直、どうすればよいか分からなくなっていました。興文祭まで残り1週間となったとき、仲間の「学習と生活」の記



述をきっかけに、全員で合唱に対する思いについて、本音で語り合いました。そのとき私は、「合唱が苦手な仲間が少なくなれば、みんなで歌うことができるだろう」という甘い考えで、合唱が苦手な仲間の気持ちを本当に考え、1人1人に関わり切れていないことに気付かされました。そして、その日から全員が同じ方向を向き始めました。

当日、少しでも練習したいという全員の思いから、給食後に最後の練習が始まりました。本番直前まで上達し続けた合唱は、これまでで最高の合唱になりました。そして迎えた本番。3Aの全員が心を一つにし、最高の全員合唱をすることができました。そのとき、より強くなった3Aの絆を感じました。それができたのは、1つの目標に向かい、リーダー、フォロワーがそれぞれに、全員で頑張り切れたからだと思います。最後まで挑戦し、お互いを信じ続けた仲間から感謝したいです。

1 2月の行事予定

日	曜	主な行事
1	土	
2	日	
3	月	全校研究会(2D英語)
4	火	人権集会
5	水	リフレッシュデー
6	木	三者懇談
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	三者懇談
11	火	三者懇談
12	水	三者懇談 財産交流会(2年) リフレッシュデー
13	木	財産交流会(3年)
14	金	財産交流会(1年)
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	リフレッシュデー
20	木	
21	金	
22	土	土曜授業(終日)※弁当持参
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	2学期終業式(午前授業 給食なし)
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

1月の主な予定

- 7日 3学期始業式・書き初め会
- 8日 3年実力テスト
- 11日 学年末テスト(3年)・実力テスト(1・2年)
- 17日 委員会・教科係会
- 19日 土曜授業(②家庭教育学級、③授業公開)
- 23日 全校集会
- 29日~2月1日 進路懇談(3年)